

新潟脳神経研究会第308回例会

日時：平成28年7月5日（火）午後6時～

場所：脳研究所 1階 検討会議室

（司会：鈴木 雄治）

1) EIF2B5 突然変異マウスの発見と解析 (30分)

辻田 実加

新潟大・脳研・統合脳機能研究センター

繁殖中のマウスコロニーの中から、身体が小さく進行性の運動障害がみられる突然変異マウスを発見した。連鎖解析と次世代シーケンスを用いて、EIF2B5遺伝子に点変異を検出した。EIF2B5はVWM型白質脳症の原因遺伝子の一つである。このマウスの発見から、同定までの経緯、そして現在進行中の解析について報告する。

（司会：吉武 講平）

2) マウス一次視覚野における視野前方領域のニューロンが持つ方向選択性と空間周波数選択性の組合せについての解析 (30分)

西尾 奈々^{1, 2}, 石川理子², 吉村由美子²

¹新潟大・脳研・システム脳生理学分野；

²生理研・視覚情報処理研究部門

中心視野が鋭敏であるヒトと異なり、マウスの一次視覚野は視野の上方領域の方が下方領域よりも高空間周波数（細かい明暗刺激）に対する反応性が高い。このことは上空の捕食者の接近を察知するのに役立つと考えられる。今回我々はマウス一次視覚野の視野前上方領域のニューロンが持つ方向選択性と空間周波数選択性の組合せについて解析し、高い空間周波数に選択性を持つニューロンの多くが前から後への方向選択性を併せ持つことを見出した。さらに、それら選択性の視覚経験依存性についての解析も合わせて報告する。

どうぞ奮ってご参加ください。

（担当：統合脳機能研究センター）
新潟脳神経研究会幹事代表：那波宏之